



ALC-PRO II センサー動作について

ALC-PRO II のハンディユニット【HU-220】には、半導体ガスセンサーと燃料電池センサーの 2 つが搭載されております。燃料電池センサーはエタノールのみ反応し、高精度ですが測定結果の表示に時間がかかります。そのため、まずは反応の早い半導体ガスセンサーでエタノールもしくはエタノールに近い成分が含まれていないかチェックしています。その段階で、0.035mg/L 以上の検出があった場合にポンプを引き（この時にカチッという音がします）、燃料電池センサーで正確な測定をする仕様になっています。

半導体ガスセンサーは、周辺環境の温度や湿度により感度変化いたします。特に呼気ガスでも 0.040mg/L 程度の値を示す場合がございます。また、周辺室内にエタノールが漂っていれば反応してしまいます。

ハンディユニット【HU-220】ではこの環境の変化に適応できるよう自動補正機能がございます。通電した状態で 30 分以上測定が行われなかった場合、その時点の室内空気中のアルコール濃度を基準に 0 点補正されます。ただし、測定完了 30 分以内に測定すると、自動補正はかかりません。また、測定後に毎回測定器の電源を OFF にされますと自動補正はかかりません。自動補正を行いたい場合は、常時 ALC-PRO II を通電していただく必要がございます。

質問、ご相談は東海電子コンタクトセンターへお問い合わせください。

東海電子株式会社 コンタクトセンター

TEL : 0120-609-100

(受付時間 平日 9:00~17:30)

2025 年 5 月